

エコ〜つうしん

平成 19 年 (2007) 6 月 2 8 日 編集発行：出雲市役所環境保全課 (TEL21-6535 FAX21-6597)

環境新聞「エコ〜つうしん第4号」をお届けします。3月に、出雲市の豊かな自然環境を守っていくために環境基本計画が策定されました。みなで力を合わせて、できることからやっていきましょう。

家庭発・地球行き③〜地球のために家庭でできること〜水を汚さないように気をつけよう!

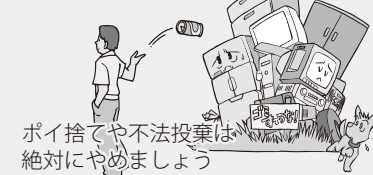
私たちは毎日、水を使って生活しています。そして、私たちは知らないうちに、自分たちの飲み水などを汚してしまっているのです。海や湖、川の水がどんどん汚れています。その原因は工場や家庭からの排水。もし、川や湖に油を100ml流したとすると、その水の中の生き物が生きていけるようにするには、その100万倍もの水でうすめなければなりません。みんなできれいな川や湖にしていきましょう。

私たちにできること

1. 廃食用油や生ごみなどを流さず、洗剤は適量を使用するなど台所対策を徹底しましょう。
2. 河川や湖へのごみのポイ捨てや不法投棄はやめましょう。
3. 釣りやレジャーで出たごみは必ず持ち帰るようにしましょう。
4. 河川や湖に親しむ体験活動や清掃活動に参加しましょう。
5. 下水道などの整備後は速やかに接続しましょう。

【出雲市環境基本計画の市民行動指針より抜粋】

※市には、合併処理浄化槽の設置、維持に対する補助制度があります。詳しくは、下水道管理課(☎21-2225)へ問い合わせください。



自然体験のススメ③「ホタルの観察編」

この時期の夜、きれいな水が流れている川や水田で、ホタルが光っているのを目にすることができます。ホタルは種類によって光り方が違います。ゲンジボタルのオスは、2秒〜4秒に1回パッと光って消えます。ヘイケボタルのオスは2秒に3回くらい弱く長く光ります。ご家族や友人たちとぜひホタルを観察してみてください。

ホタルの観察で気をつけること

- ・ホタルは光を嫌います。電灯を使う時は赤いセロハンをかぶせて光を弱くしましょう。
- ・ホタルは大きな音を嫌います。大きな音、声は出さないようにしましょう。

環境特派員のレポート

自然を身近に感じ、大切にしよう 神西湖を散策して

2月24日、「神西湖えこあるーく」に参加しました。

ゴミ袋と火バサミを手に、水鳥や景色を見ながら遊歩道を歩きました。道にはあまりゴミはなく、関心していると、葦の間や護岸付近にたくさんさんのゴミが打ち寄せられていました。

なんと、ゴミの中にはハングル文字が書かれているものがあり、海から流れ込んだことがわかりました。

気軽にポイと捨てたゴミはその場だけでなく、水や風に乗って運ばれ遠くの地域まで汚してしまします。何気なく流した少量の汚水も、湖に流れ込めばそこに生きる生物に悪影響を及ぼします。



冬鳥の野鳥観察



ゴミを拾いながらウォークラリー

(取材／今岡特派員)

豊かな緑を

子どもたちの未来へ

新緑のさわやかな季節、山々はきれいに見えますが、農業や林業に携わる人がいなくなった里山は手入れがされなくなり、荒れて竹やクズがはびこっています。そんな状況を憂い、「森林を守ろう!」という市民団体が最近



竹のプランター

はたくさんできました。

出雲市には、「森の仲間」というグループがあり、山や森を舞台に植林や下草刈りのほか、椎茸作りや山小屋作りまで幅広く活動されています。昨年の10月と今年2月には、管理に困っている竹林の伐採もされました。地元の人

は、うつそうとしていた竹やぶがばつさり切られ、さっぱりしたことに大喜びでした。

切り出された竹はプランターに、枝は竹ぼうきにされました。そして、春には明るくなった竹やぶで、地元の子どもたちも一緒に竹の子掘り大会が開かれました。

昔、山は奥の方まで田畑にされ、山に包まれた暮らしが

ありました。今、街の中に住んでいると、山は遠くに見えるものでしかありません。しかし、山は、降った雨をしっかりと蓄え、災害を防ぎ、命の水を与えてくれる尊いものです。海の魚までも山から流れる栄養素で育つと言われて

います。山をきちんと管理する事はいろんな恩恵があり、

散策するだけでも心と体の栄養となります。

自分の山でなくても、管理するお手伝いができる。そんな活動をされている皆さんは素晴らしいと思います。豊かな緑を子どもたちへ残すため、今できることを一つでも実践することが大切だと思います。(取材／坂本特派員)

「オコシ」の作り方

- 材料
- ①干したご飯 カップ1杯
 - ②薄口しょう油 大さじ1杯
 - ③砂糖 カップ1/2杯
- (最後に振りかけるのを含む)

- つくり方
- ①乾燥したご飯はめん棒で叩いて小さく砕いておく。
 - ②鍋に砂糖と薄口しょう油を入れ、火にかけ溶かしておく。
 - ③①のご飯を油できつね色になるくらい揚げ、バットに紙を敷いて油を切っておく。
 - ④②の鍋の中に③を少しずつ入れてからまぜ、最後に残しておいた砂糖を振り入れ、カラッとさせて出来上がり。



素朴な味でとてもおいしいですよ

(取材／飯塚特派員)

市からのお知らせ

野焼きは やめましょう!

廃棄物の野焼きは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により原則として禁止されています。

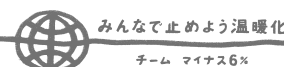
違反すると「5年以下の懲役又は一千万円以下の罰金、又はその併科」に課せられます。

例外として野焼きが認められるものもありますが、生活環境に影響を与えている場合には指導・処分の対象となります。

家庭から出たごみは、市のごみ収集に出すか、直接ごみ処理場に搬入して処分しましょう。



野焼きは法律で禁止されています
野焼きはやめましょう



『チーム・マイナス6%』の言葉には、「一人ひとりの力は小さくなく、一人ひとりの行いは、ちょっとしたこともかもしれない。でも、それがチームとなって結集すれば、地球規模の大きな力になれる」という思いが込められています。